研修部会

活　動　計　画

1　活動の重点

学習指導要領の理念を実現し，地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために，校長会研究集会を開催して研修を深める。また，教育課程，生徒指導，同和教育の３委員会を設け，調査研究活動や研修活動に取り組み，校長の資質・指導力の向上を図る。

2　活動の概要

⑴　第67回関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会（全県研究集会）

①　期日

平成27年６月11日（木）・12日（金）

②　会場

朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター　他

③　大会主題・副主題

〈全連小大会主題（H25～）〉
新たな知を拓き　人間性豊かな社会を築く　日本人の育成を目指す小学校教育の推進

〈新潟大会副主題〉
未来を生き抜く知を磨き 絆を強め 学び続ける子どもを育てる学校経営

④　大会趣旨

関東甲信越地区小学校長研究協議会は，全国連合小学校長会の研究主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を受け，年度ごとに大会副主題を設定し，研究協議を重ねてきた。その推進に当たってはこれまでの大会の成果を踏まえつつ，激しい変動が予想される社会において，子どもが将来直面する困難な諸課題に自ら立ち向かい，乗り越えようとする力を育成する小学校教育を進めることに努めてきた。

今日，知識基盤社会化，グローバル化，情報化が一層進展し，それにより競争が激化し，我が国を取り巻く危機的状況は広がってきている。東日本大震災からの復興という国民的課題をはじめ，少子化や高齢化の進展，雇用環境の変化など，日本社会は多岐にわたる課題に直面している。先行きの不透明感や閉塞感が強まり，人間関係の希薄化が進む中で，人と人との絆の大切さが改めて見直されている。

こうした激動の時代のなか，希望を抱き，困難な諸課題に立ち向かう気力と知恵をもって，異なる価値観をもつ多様な人々と共に協力・協働しながら，粘り強く問題解決に立ち向かう子どもの育成を願い，本副主題を設定した。

変化する時代の潮流や未来への課題を踏まえ，夢と志をもち，互いに磨き合い，様々な分野で豊かで創造的な知性を発揮し，主体的に未来を生き抜く力を身に付けた子どもを育てることが必要である。

また，人間性豊かな社会を築くためには，多様性を認め合い，他と協働し，共に支え合う人間関係をつくり，自制を伴った「開かれた個」を育てることが求められる。

さらに，よりよい社会の在り方を考えることができる日本人を育成するためには，課題解決に向けて自立的に行動し，絶えず自分や社会を見つめながら生涯にわたって主体的に学び続け，自己実現を図る子どもを育てることが求められる。

このような子どもを育てることができる意欲と力量をもった教師がいる学校の実現は，校長のビジョンと経営力によるところが大きい。時代の大きな変化を踏まえ，新しい時代に主体的に生き抜く子どもの育成という観点から，校長は新たな視点をもって創造性豊かな学校経営を推進していかなければならない。

そのために，校長が鋭い先見性と高い教育理念をもち，学校の実態に即した適切な教育課程の編成・実施・評価・改善に努めることが不可欠である。実践を通し，その成果を具体的な子どもの姿で示すことで，地域や保護者の信頼を得るようにしなければならない。校長は，自らの使命を自覚し，リーダーシップを発揮して教職員の指導力を高め，活力溢れる学校づくりを進めるなど，組織の総力を挙げて教育課題解決に向けて努力していく。

本年度は，関ブロ新潟大会を全県研究集会として位置付ける。これまでの研究集会の成果を生かし，学習指導要領全面実施５年目の実践について，具体的に協議し合うことを目指す。各校長は，ここでの協議を生かし，創意と活力に満ちた特色ある学校の創造に向けて，計画的に実践を重ねていくことが重要である。

⑤　分科会・分散会

ア　分科会構成

全連小で挙げている重要事項（学校経営，教育課程，指導・育成，危機管理，教育課題）別に，13分科会を設定し，26分散会を設け次ページのとおりとする。

イ　基本方針

・　大会主題や副主題の趣旨に基づき，分科会・分散会を運営する。
・　分散会は40名程度（約半数は新潟県）とし，少人数での協議ができるようにする。
・　分科会・分散会では，研究協議題の趣旨や提言の視点を踏まえ，校長の学校経営の立場から事例を通して研究協議を深める。

分科会	研究協議題	分散会	提言の視点	県担当郡市	他県
A	創意と活力に満ちた特色ある学校経営	1	校長の教育ビジョンを実現する組織・運営体制の構築	新発田 北　蒲	千葉県
		2	学校評価を生かした特色ある学校づくり，学校経営の推進	胎　内	長野県
B	生きる力を育む教育課程	3	確かな学力を育てる教育課程の編成・実施・評価・改善	加　茂 南　蒲	茨城県
		4	豊かな人間性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善	東　蒲	埼玉県
C	資質・能力の向上を図る現職教育	5	組織の一員として機能する教職員の育成，研修体制の構築	佐　渡	群馬県
		6	学校運営の核として，確かな展望をもち，行動できるミドルリーダーの育成	小千谷	栃木県
D	豊かな人間関係を築く生徒指導	7	自己有用感をもたせ，豊かな人間関係を築く教育活動の推進	柏　崎 刈　羽	東京都
		8	規範意識や社会性の育成を目指した教育活動の推進	阿賀野	千葉県
E	豊かな心を育む道徳教育	9	豊かな心と道徳的実践力を育てる道徳教育の推進	十日町 中　魚	神奈川県
		10	家庭・地域と連携した道徳教育の推進	見　附	埼玉県

分科会	研究協議題	分散会	提言の視点	県担当郡市	他県
F	共に生きる力を育てる特別支援教育	11	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	新　潟	東京都
		12	通常の学級における特別支援教育の推進	南　魚	神奈川県
G	互いを認め合う心を育む人権教育及び福祉教育	13	自他の人権を尊重し合う心を育む人権教育の推進	上　越	千葉県
		14	共生の心を育む福祉教育の推進	長　岡 三　島	東京都
H	心と体を育てる健康・安全教育	15	心と体の健やかな成長を目指す食育や健康教育の推進	五　泉	栃木県
		16	自他の生命を尊重し，自ら安全な行動がとれる防災教育・安全教育の推進	糸魚川	神奈川県
I	教育力を高め合う学校・家庭・地域の連携	17	コミュニティ・スクール制度など，地域とともに歩む学校づくりの推進	燕 西　蒲	長野県
		18	互いの教育力を高め合う学校・家庭・地域等の連携の推進	新　潟	茨城県
J	国際社会を主体的に生き抜く子どもを育てる国際理解教育	19	自他の文化を大切にしながら，国際社会を生き抜こうとする態度を育てる国際理解教育の推進	魚　沼	埼玉県
		20	コミュニケーション能力を育てる外国語活動の推進	長　岡 三　島	山梨県
K	持続可能な社会の構築を目指す環境教育	21	地域の特性を生かした環境教育の推進	村　上	神奈川県
		22	体験的，主体的な取組を通して感性を育む環境教育の推進	三　条	千葉県
L	情報活用能力を育て情報モラルを高める情報教育	23	家庭や地域，関係機関と連携し，情報モラルを高めていく情報教育の推進	妙　高	東京都
		24	情報を創造・表現・発信する能力を育てる情報教育の推進	上　越	埼玉県
M	今日的課題に対応する教育	25	幼保・小・中などとの連携を生かした教育活動の推進	三　条	群馬県
		26	豊かな未来の実現に貢献する力を育てるキャリア教育の推進	新発田 北　蒲	東京都

⑥　平成27年度以降の校長会研究集会のもち方

校長研究集会は，本年度の関ブロ新潟大会を見据え，「H25地区・H26全県（プレ）・H27全県（関ブロ）・H28地区の４年サイクルの研究集会」とした。昨年度は，関ブロ新潟プレ大会として実施し，成果と課題を明らかにしてきた。本年度は，関ブロ新潟大会を全県研究集会として位置付ける。本研究集会では，関東各都県の優れた実践に触れて各自が実践をさらに充実させる。４年目は，地区別研究集会を開催し，４年間にわたる実践の結果や成果を確認する。その後は，３年サイクルによる研究集会とする。

⑵　第67回全国連合小学校長会研究協議会山口大会

①　研究主題　新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進

副 主 題　志を高くもち 未来へ向かって 共にたくましく生きる子どもを育てる学校経営の推進

②　期　　日　平成27年10月22日（木）～10月23日（金）

③　会　　場　山口市「山口県スポーツ文化センター（アリーナ）」

④　参 加 者　各郡市校長会に割り当てる

⑶　委員会活動

教育課程委員会，生徒指導委員会，同和教育委員会の３委員会による調査研究活動の実施と関係諸会合への参加・研修活動を行う。

①　教育課程委員会

教育課程の実施状況や教育課程にかかわる諸問題について調査研究を行う。アンケート及び聞き取り調査等から「新たな知を拓き　人間性豊かな社会を築く　日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の実情を探り，各校の教育課程の改善・充実のための資料とする。

②　生徒指導委員会

生徒指導に関する実情について調査研究を行う。これまで，いじめや不登校，問題行動等の解消や未然防止を目指した「社会性の育成」をテーマとして，児童の実態や地域の実情に応じた創意ある取組について，広く調査研究を進めてきている。本年度もそれを継承する。「いじめ見逃しゼロ県民運動」の一環ととらえて，重点的に取り組んでいく。

③　同和教育委員会

新潟県同和教育研究協議会の各種委員の選出及び諸会議への出席，各種研究集会への参加態勢の確立などを通して，同和教育推進の活動を行う。また，新潟県同和教育研究集会，部落解放新潟県研究集会，「いのち・愛・人権」展等，同和教育にかかわる各種大会に参加して研修を進める。

⑷　全県研修部会の開催

①　第１回　　期　日　　平成27年５月13日（水）
　　会　場　　燕市「燕市吉田産業会館」
　　内　容　　平成27年度研修部活動計画の概要決定

②　第２回　　期　日　　平成27年11月12日（木）
　　会　場　　じょいあす新潟会館（会場予約未）
　　内　容　　研修部の活動のまとめ

③　このほかに，関ブロ新潟大会の進捗に合わせて，随時必要な会議を開催する。